

# 笠岡・井原・浅口圏版

## ⑨ 国産ストロー(浅口市)

カフェなどで飲み物を注文すると、多くのケースで商品とともに提供されるストロー。今や生活に密着している雑貨の一つだが、浅口市が国内有数の生産地ということは意外と知られていない。

ストローは英語で「麦わら」の意味の通り、日本国内ではプラスチックや紙製が主流となる以前は麦わらが使われていたという。浅口は寄島町地区を中心に「麦稈真田」の生産が盛んだったことから、明治期に同地区でストロー産業が興ったとされる。

国産ストローについて、製造大手シバセ工業(鴨方町六条院中)の磯田拓也社長(61)は「小ロット、多品種、短納期に対応できるのが強み」と強調。人気が続くバイオカドリンクで主に使われるためのストローでは、

需要の急激な高まりに合という。井笠地域のストロー産を言い、注文が急増した業は1970年代前半、

## わがまち **ここ** がすごいんじゃ



多様なストローを製造、出荷しているシバセ工業の工場

# 医療、工業用にも進出

約20社が運営するなど活況を呈したが、安価な輸入品に押されるなどして、現在は浅口の6社をはじめ8社に減少。それでもシバセ工業は、ストローの生産技術を生かし、注射針のカバーやスプレーノズルなど医療、工業用といった幅広い分野に進出。中備化工(寄島町)は微生物によって分解可能な「生分解性プラスチック」を採用した製品を手掛けるなど可能性を広げている。

両社はストローを使ったアート教室を開いたり、作品をホームページで紹介したりするなど普及で紹介したりするなど普及活動にも力を入れてい

シリーズ「岡山学ふるさと再発見」は、電子版「山陽新聞デジタル(さんデジ)」で各エリアの掲載記事をまとめてご覧いただけます。



浅口市立鴨方郷土資料館が所蔵している昭和期の麦稈。茎が長くて太いなど良質なものとして重宝された

(松山慎二) 随時掲載

井笠住宅リフォーム協同組合  
TEL 0865-660-0771

身近なニュース、  
会合、催しなど、  
お知らせください。